＜山行報告＞

鬼城バリエーション（国東半島）

【報　告　者】キーボウ
【日　　時】2022 年３月 25 日（金）
【参　加　者】りりぃ、キーボウ

【痩せ尾根を辿る】

≪コースタイム≫

３月 25 日（金）； 並石ダム（10：45）～稜線（12：00）～鬼城一般道（16：30）～並石ダム（17：00）

≪　報　　告　≫

３月にリリィが孫に逢いに福岡へ来るというので、国東半島のバリエーションル

ートを企画しました。大分の豊嶺会が発行した「国東半島　山ガイド」に掲載されているバリエーションルートです。鬼城（きしろ）という山の南西の稜が見た目もギザギザの稜線となっていてそこを踏破しようというものです。
　福岡のＯさん（YAMAP ではとりにく）の報告書を参考に出かけました。
　26 日の土曜日に皆さんに呼び掛けて企画した山行でしたが、26 日は雨 100%の予報ということで、急遽、25 日（金）に変更して実行しました。

25 日の９時半にリリィを大分空港に迎えに行き、国東半島の真ん中付近にある並石ダムに到着。スタートが 11 時と山行計画としては適切ではないスタートでした。結構甘めに見積もっていました。

　装備は、ヘルメット、ダブルロープ 2 本、ハーネス、スリング、クイックドロー、カラビナ数個です。ビレイデバイスはりりぃに渡し、僕は環付きカラビナによるムンターヒッチでビレイと懸垂下降をしました。また、僕は一応クライミングシューズも用意しました。

　一般登山道から外れると谷を詰めます。大原君のレポートではすぐに左の尾根に上がるルート取りでしたが沢筋の方が歩きやすいのでギリギリまで沢を詰めて行きました。
　谷を詰めて傾斜が急になってきて左手の支尾根の稜線に出ました。主稜線はすぐそこでした。
　ここからがバリエーションルートのスタートです。

　藪尾根は一部イバラが邪魔をしますが、そこそこ歩きやすく基本登りはロープ不要です。下りは 4 回の懸垂下降がありました。一回はロープをつないで降りたのですが 1 本で十分だったようです。立ち木での懸垂が 2 回古いリングボルトでの懸垂が 2 回でした。
　ジオグラフィカの軌跡を見ると前半で右の支尾根に迷い込んでいることが分かります。後半にも右の支尾根に迷い込んだのですが、軌跡としては分からないくらいでした。いずれも 50mくらいで行き詰まったので良かったのですが、しっかり地図と対比しないと間違えやすいです。特に、僕の場合は思い込みが強いので気を付けなければ・・・

　懸垂下降の写真の大岩ですが、ネットには登った記録が見当たりません。皆さん、大岩の基部を左回り（北側）に匍匐前進で進んだようです。

　その大岩を見上げて、壁をよく見ると古いハーケンが打ってあり、かなりしっかりしてそうに見えたので取付きました。コケコケですが乾いた苔で滑りやすくはありません。但し、最初の方のフットホールドが細かく、クライミングシューズに履き替えました。トップには古いリングボルト２本ありました。スリングで捨て縄を作り下降しました。もう一本ボルトを追加し補強した方が良さそうです。

　当日は、風が強く痩せ尾根の通過には慎重を期しました。強風の連続だと耐風姿勢を取れば良いのですが、いきなり風が止むとバランスを崩しそうになります。

　この写真にもあるように、懸垂下降では風でロープが大きく流されています。

　この後、先端を支えて良い位置に着地することが出来ました。

　りりぃも良く頑張って耐えてくれました。

　アップダウンは結構あったのですが、なんせ標高は登山口で 200m、最高点が 400mくらい、楽なはずだったのですが、運動不足で、一般登山道に出た頃には足が攣っていました。少しはトレーニングすべきだと反省。

△271.1
·268
並石ダム
新田